

サイアバイン SH-109

1. 特徴

- ・ 2液硬化型のウレタン系粘着剤です。
- ・ 微粘着でヌレ性に優れています。

2. 性状

	主剤	硬化剤
品名	SH-109	T-501B
外観	無色透明液体	淡黄色透明液体
不揮発分	64.0±1.0%	75.0±2.0%
粘度	1400±500mPa·s	—
溶剤	酢酸エチル/トルエン	酢酸エチル

3. 使用方法

配合	:	主剤 SH-109	1.00 kg
		硬化剤 T-501B	0.15 kg
塗布量	:	約25g/m ² (dry)	
乾燥	:	100°C-2分 熱風オープン	
熟成	:	塗工後、室温7日以上	

4. 性能

試験項目			T-501B 15 部
粘着力 [N/25mm]	対 SUS	初期	0.016
		永久	0.023
	対 Glass	初期	0.021
		永久	0.020
保持力(40°C-1kg) [ズレ mm/70000sec]			NC

(注釈) NC: ノンクリーブ

[試料作成条件]

配合比	SH-109/T-501B = 100/15.0 (wt%)
基材	: 市販ポリエステルフィルム 50 μ m
剥離紙	: 市販ポリエステルセパレーター 38 μ m
塗布量	: 約25g/m ² (dry)
乾燥	: 100°C-2分 熱風オープン
熟成	: 塗工後、室温7日以上
試験方法	: 一般試験方法 参照

5. 使用上の注意事項

保存方法	: 屋内
取り扱い	: 危険物につき火気厳禁 水分混入に注意

* 本資料記載データは弊社試験に基づくものでありますが、使用された場合の性能を保証するものではありません。ご使用に際しましては、ユーザー各位の使用条件で事前確認の上、ご採用いただきますようお願い申し上げます。

一般試験方法

[粘着力]

試料と被着体を30分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ2Kg ロールで1往復圧着後測定する。測定は引っ張り試験機を用い、180度方向へ300mm/minの速度で引き剥がし、その強度を表示する。測定雰囲気は別に表記がない場合23°C-50%RH で実施する。

試料サイズ	:	巾25mm×長さ100mm
被着体	:	SUS板、ガラス板
初期	:	圧着後直後に測定する。
永久	:	圧着後測定雰囲気内に24時間放置してから測定する。

[保持力]

試料を23°C-50%RH内で被着体に貼り合わせ、2Kg ロールで1往復圧着する。貼着試料は測定雰囲気中で20分放置後1Kg 荷重を掛け、落下するまでの秒数又は70000秒後のズレ長さを測定する。

試料サイズ	:	巾25mm×長さ100mm
貼着面積	:	巾25mm×長さ25mm
被着体	:	SUS板
測定雰囲気	:	40°C
荷重	:	1Kg